

ふるさと 文化の館 情報

Information

Librally

問ふるさと文化の館 ☎72-2120

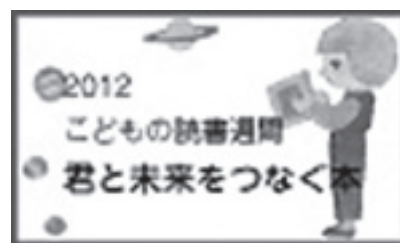
「子ども読書の日」と「こども読書週間」

4月23日は子ども読書の日です。子どもたちの読書活動推進に理解を深め、子どもが積極的に読書を行う意欲を高められるよう、2001年に定められました。

この「子ども読書の日」から5月12日までの2週間が「こどもの読書週間」です。もともとは5月1日から14日まででしたが、2000年の「子ども読書年」をきっかけに現在の期間に延長されました。

今年の標語は「君と未来をつなぐ本」。子どもたちにとっては、本と触れあうことが新しい世界に飛び込む一歩につながるのかもしれない。

春になり外に出て行く機会が増えてきましたが、お家でお子さんと一緒にじっくり本に向き合う時間を設けてみてはいかがでしょうか。きっと、かけがえのないひとときになることと思います。



Books

『泣ける話、笑える話 名文見本帖』

徳岡孝夫・中野翠／著 文春新書 文藝春秋

ジャーナリストであった徳岡孝夫氏とコラムニストの中野翠氏の二人の短編エッセイ集。

昭和30年代から現代まで、時代背景も内容も多岐にわたる二人の作品が交互に掲載されています。どちらも簡潔で読みやすい作品ばかりです。

徳岡氏の取材先での心に迫るエピソードや、中野氏の思わず吹き出してしまう友人たちの体験談など、両者の博識さ、生き方が感じられる、まさに「泣けて」「笑える」名文ぞろいの一冊です。



『ももたろう』

松居直／文 赤羽末吉／画 福音館書店

おばあさんは川上から流れてきた桃を拾います。おじいさんとふたりで割ろうとすると、桃がじゃくっと割れて、中からかわいい男の子が生まれました。おじいさんとおばあさんは「ももたろう」と名付けました。

この絵本の文章はとてもしずみカル。黙読するより声に出して読むと、言葉や文章の持つ心地良いリズムが感じられます。絵は水彩画で穏やかな色使いには心が安らぎます。

たくさんの「ももたろう」が出版されていますが、その中でもお子さんにお薦めしたい良い絵本です。

お子さんと一緒に声に出して読んでほしい一冊です。

